

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
  - ① 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」参加者を募集します
  - ② 子どもの自殺ゼロプロジェクト「第2回オンライン講演会」
  - ③ 藤岡特支公開研修会「ライフステージごとの支援と相談先」
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
  - ① ひきこもり家族教室『本人と家族の気持ち』『会話の工夫』
  - ② 安中市「ひきこもりU×ラウンジin群馬・安中」
  - ③ 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ13」
- 3) 民間活動団体等の紹介
  - ① 群馬子どもサポート「だるまの会」LD等発達障害児親の会

1 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」参加者を募集します

県子ども・若者支援協議会では、困難な状況に子ども・若者の支援に携わっている方を対象に研修会を開催します。

今回は、「発達の特徴を持つ子ども・若者の社会的自立の支援」をテーマに「乳幼児期」「学齢期」「思春期」「青年期」の各ライフステージにおける親御さんや本人の不安や悩みに対応する支援機関や社会資源の情報を提供するとともに、切れ目ない支援の実現に向けて縦・横の連携に取り組むための課題と対策について参加者の皆さんと一緒に考えていきます。

■日時 令和4年12月12日(月) 13:15~16:15

■会場 群馬県公社総合ビル ホール(前橋市大渡町1-10-7)

■内容

(1) プロローグ

- ① 概説1「発達の特徴を持つ子ども・若者の社会的自立支援の全体概要について」

群馬県障害政策課精神保健室 主任 岡 直矢氏

- ② 概説2「成長過程で見られる発達特性の医療診断とその対応」

みどりクリニック院長 医学博士 鈴木 基司氏

(2) 第1部 情報提供

乳幼児期・学齢期における発達障害に係る相談・支援機関の役割

- ① 「保健センター・こども発達支援センターの役割と相談・支援の現況」

前橋市子育て支援課こども健診係長 保健師 望月 恵氏

- ② 「就学に向けて幼児期の福祉サービスを活用して本人の自立を支援する」

児童発達支援センター「つくし園」 園長 秋松 宗雄氏

- ③ 「専門アドバイザーの仕事と学校支援」

県立渋川特別支援学校 特別支援教育専門アドバイザー

武井 絵里子氏

- ④ 「児童相談所における発達支援の役割」

中央児童相談所 次長兼発達支援係長 臨床心理士

公認心理師 吉田 喜美子氏

(3) 第2部 意見交換

乳幼児期・学齢期の発達特性の相談・支援における各機関の連携について、玉村町における取り組み事例の課題を受けて、登壇者で意見交換を行います。

- コーディネーター：NPO法人リンケージ 石川京子氏
- 助言者：みどりクリニック院長 鈴木基司氏  
県障害政策課主任 岡直矢氏
- 報告「玉村町における健康福祉分野と学校教育との連携」  
玉村町 健康福祉課課長補佐社会福祉係長 畑中哲哉氏ほか
- 登壇者 第1部の情報提供者

【申込み】

定員200人（先着順） 期日：12月5日（月）まで

【群馬県庁】ぐんま電子申請受付システムで申込みください

[https://s-kantan.jp/pref-gunma-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=9703](https://s-kantan.jp/pref-gunma-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=9703)

【問合せ連絡先】

群馬県子ども・若者支援協議会  
(県児童福祉・青少年課青少年育成係)  
電話 027-226-2393  
e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

2 10/19 子どもの自殺ゼロプロジェクト「第2回オンライン講演会」

令和4年度群馬県委託事業「子どもの自殺ゼロプロジェクト」で、群馬大学医学部付属病院小児科主催による第2回オンライン講演会が下記のとおり開催されます。

今回のテーマは「トラウマと自殺・自傷：簡易型トラウマ処理による治療」です。トラウマというと特別な状況のように感じられる言葉ですが、「心の傷」なのです。

この心の傷と自殺・自傷との関連、その対処法について、子どものこころの診察に携わる専門家が皆さんにお話しします。

【講演会の概要】

日時：10月19日（水） 18：00～19：00

場所：オンライン（Zoom使用）

講師：杉山 登志郎先生  
(福井大学医学部付属病院 子どものこころ診察部 客員教授)

対象：子どもの関わる専門職の方

参加費：無料

定員：200名

申し込み方法（メール受付）

e-mail : kodomo-net@ml.gunma-u.ac.jp

件名「オンライン講演会申込み」

記入事項 配信用メールアドレス、氏名、所属、職業

受付の確認は、後日、事務局からメールでご連絡します

「講師からのメッセージ」から一部引用

重度のトラウマは、自殺・自傷に深く結びつきます。

その背後にあるのはトラウマの「フラッシュバック」です。

通常の傾聴型カウンセリングでは悪化を招きます。

トラウマ処理は、フラッシュバックの治療に特化した特殊な精神療法です。

本講演では、通常の外来診察で誰でも実施できる簡易型トラウマ処理（TSプロトコール）を紹介し、自殺・自傷を減らすための方策を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

<問い合わせ先>

群馬大学医学部附属病院小児科  
子どもの自殺ゼロプロジェクト事務局  
e-mail : kodomo-net@ml.gunma-u.ac.jp  
電話 : 027-220-8203

### 3 11/21 藤岡特支公開研修会「ライフステージごとの支援と相談先」

県立藤岡特別支援学校では、支援が必要な本人や家族、学校・福祉関係者、行政等の職員に向けて、幼稚園等から社会に出ていくまでの「ライフステージごとの支援と相談先」について各機関が情報を提供する研修会を対面とライブ配信で公開します。

参加者の皆さんに、支援対象者のライフステージによって必要な知識や多くの支援者がいることを知っていただくことを目的にしています。

#### 【研修会の概要】

日時：11月21日（月） 14:00～16:00  
場所：藤岡市総合学習センター（藤岡市藤岡1485）  
講師：藤岡市：子ども課、福祉課、教育委員会事務局  
群馬県：総合教育センター、藤岡特別支援学校  
民間：障害者就業・生活支援センター「トータス」  
その他 相談のための情報交換（顔の見える関係作り）

<申込み方法> 締め切りはいずれも 11月14日（月）まで

#### ①会場参加

→ <https://forms.gle/iCaecQfN9s5ivHXd6>

#### ②配信

→ <https://forms.gle/unkXGPKwQRcU19Vu8>

研修会の詳細は学校のHPをご覧ください

<https://fujitoku-ses.gsn.ed.jp/>

### 4 11/24 ひきこもり家族教室『本人と家族の気持ち』『会話の工夫』

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいる家族を対象に家族教室を開催します。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としませんか。

■教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。

■「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

■支援者の方の参加もお待ちしております。  
まずはご連絡ください。

■県のホームページに使用するテキストを掲載しています。

こちらからダウンロードしてください

<https://www.pref.gunma.jp/07/p11710028.html#hikikomori>

【家族教室】

教室：11月24日（木）13:30～16:00  
内容：『本人と家族の気持ち』『会話の工夫』とは  
会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）  
連絡先：ひきこもり支援センター  
専用ダイヤル 027-287-1121

＜参加者の声＞

「皆さんのお話から元気をいただきました」  
「工夫できるところが見つかった」  
「気持ちに余裕が持てるようになった」  
「選択肢が広がった」 etc...

5 11/9 安中市「ひきこもりU×ラウンジin群馬・安中」

安中市では、一般社団法人「ひきこもりUX会議」と協力して「ひきこもりU×ラウンジin群馬・安中」を開催します。  
ひきこもり当事者や家族、支援者関係者同士がリラックスして出会い、対話交流ができるイベントとして県内広くに呼びかけて実施します。

【概要】

日時：11月9日（水）13:30～16:30（開場13:00）  
会場：松井田文化会館（安中市松井田町新堀530）  
参加費：無料・申込み不要  
※会場定員に達し次第、入場を制限する場合があります。

内 容

第1部：当事者体験談（誰でも聴講可能）  
第2部：ひきこもり当事者会（性別問わず当事者向け）  
ひきこもり女子会（女性（自認含む）当事者向け）  
・つながる待合室（家族、支援者向け）

問合せ先：安中市役所福祉課社会福祉係  
（☎027-382-1111 内線1194）

※マスク着用など、コロナ感染拡大防止対策にご協力ください。  
※途中参加、途中退席でも大丈夫です。  
※新型コロナウイルス感染症の状況などで開催中止の判断をさせていただきます。中止の場合は、前日までに「ひきこもりU×会議」HPでお知らせいたします。（<https://uxkaigi.jp>）

6 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ13」  
「情報商材」や「暗号資産」（仮想通貨）のトラブル

「もうかる」と誘われて・・・  
「情報商材」や「暗号資産」（仮想通貨）のトラブル

「株取引でもうかる」という「情報商材」を購入したが高額で支払えないので解約したい、SNSで知り合った人に勧められて「暗号資産」の投資をしたが出金できないなど、10歳代・20歳代の若者から「情報商材」、「暗号資産」に関する相談が増えています。

【トラブル防止のポイント】

- ・「もうかる」うまい話はありません！広告等を安易に信じないようにしましょう。
- ・「すぐに元が取れる」などと言われても、借金してまで契約しないでください。

※詳しい内容はこちらをご確認ください（国民生活センターHP）  
[https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20210603\\_1.html](https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20210603_1.html)

★こまったら、まず相談！！  
消費者ホットライン「188（いやや!）」

《お問い合わせ》  
群馬県消費生活センター 027-223-3001  
<https://www.pref.gunma.jp/05/c0900056.html>

## 7 活動紹介 群馬子どもサポート「だるまの会」 ～ LD等発達障害児親の会 ～

だるまの会は、発達障害児者親の会として2012年に発足、県内の発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。診断の有無は問いません。

私たちは、保護者や子どもを取り巻く環境が、子どものことを正しく理解すること・子どもたちが地域や社会に理解されて、自律した豊かな社会生活が送れるよう、勉強会やセミナーなど様々な活動をしています。

最近では、小中学校への入学や学習の場所選びなどの話題のほか、高校進学や就労について情報交換することも増えてきました。

苦手なことが目立つ子どもたちですが、発達のバランスが悪いだけで、良いところがたくさんあります。

そうした良いところを見つけて、子どもの持つ力を十分に伸ばし、生き生きと暮らすことができるように「だるまの会」を考えます。手も足も出ない日もあるかもしれませんが、「七転び八起き」私たちは、だるまのように何度転んでも起き上がります。

- ◆苦手なことがあって困っていませんか？
- ・読み・書き・計算など特定のことが苦手
  - ・手先が不器用で、運動面でぎこちなさがある
  - ・落ち着きがなく、集団行動が苦手
  - ・興味があることには集中できるのに、他のことには気が散りやすく、覚えられない
  - ・整理整頓が苦手で、忘れ物や紛失が多い
  - ・特定のことに強いこだわりがある
  - ・身勝手な言動が多く、周りの雰囲気からわからないために友だちとのトラブルが多い
  - ・一方的に話すことはできるのに適切なやりとりができず、会話が長続きしない
  - ・不登校、引きこもり、高校中退
  - ・就労になかなか結びつかない・・・

親同士で悩みを共有したり、勉強会に参加したりしませんか？

詳しい活動の様子はHPを御覧ください。  
<https://darumanokai-88.jimdofree.com/>



次号は、2022年11月中旬を予定しています。  
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。  
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

---

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

---

..... 群馬県子ども・若者支援協議会 .....

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活子ども部  
児童福祉・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-226-2393
- ▼ FAX 027-223-6526
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP <http://smilelife.pref.gunma.jp>